

# 協議会だより

発行 第五地区心潤う豊かなまちづくり協議会/会長：青木 武雄

編集 総務広報部会 広報委員

## 生涯学習青少年育成部会

### 社会を明るくする運動

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～



第69回“社会を明るくする運動”の街頭広報活動が7月1日（月）午後4時45分からJR長野駅前広場（善光寺口）で、主唱が法務省、主催が社会福祉法人長野市社会福祉協議会で開催されました。

安全で安心な国づくりのためには、犯罪や非行からの立ち直りに取り組む人たちを再び地域に受け入れ、地域の中で適切な「仕事」や「居場所」を確保することなどにより、責任ある社会の一員となるよう支え、誰もが「Re：スタート」できる社会を構築することが重要です。国民の皆さまには、“社会を明るくする運動”と再犯防止に向けた取組の社会的意義を理解いただき、犯罪のない幸福な社会づくりに様々な分野から、多くの方々に参加いただきたい、とのメッセージがありました。



な「仕事」や「居場所」を確保することなどにより、責任ある社会の一員となるよう支え、誰もが「Re：スタート」できる社会を構築することが重要です。国民の皆さまには、“社会を明るくする運動”と再犯防止に向けた取組の社会的意義を理解いただき、犯罪のない幸福な社会づくりに様々な分野から、多くの方々に参加いただきたい、とのメッセージがありました。

JR長野駅前広場の街頭広報活動には、第五地区からは青木会長と小林眞・松本五十二さんの両保護司が出席して、関係者あいさつや昭和小学校金管バンド演奏など一連の儀式が執り行われ、参加者から通行人に広報物資を配布し、運動のPRをしました。

## 安全防災部会

### 楽しいBOSAI(防災)2019

～大勢の子どもが集まりました～

長野びんずるが行われた8月3日（土）の昼間、表参道の中央通りかかるかや山交差点から新田町交差点間が歩行者天国になり、災害が発生したときに援護・対策などしてくれる、災害時にはたらく車両が集結し、子どもたちに体験を通して防災を考えてもらう各種の体験ブースが出展して、子どもたちのために防災イベントが行われました。

この日も日中は猛暑日になり、「子どもみこし」は、急遽昨年に引き続き熱中症防止のため中止になりました。長野市上下水道局の給水車には、特に冷たく冷やした水に大勢の子どもたちののどを潤し、熱中症防止に水分補給し大盛況でした。



水消火器で的当て体験コーナーの、水が入った簡易消火器で的を狙って倒すゲームには、子どもは器用に次々に的を倒して、スタンプラリーカード台紙にスタンプを押しもらっていました。



『楽しいBOSAI(防災)』のイベントで、超人気がある「バケツリレー」は、水を蓄えたプールの両脇にAC長野パルセイロとポアールズ長野フットサルクラブの選手が向かい合って並び、その後ろにゴールのポリバケツまで子どもたちが続いて並んで、水の入ったバケツを手渡し、早く一杯にするゲームは接戦でした。試合は3回行われました。負けたチームの選手は罰として、水が入ったプールに投げ込まれ大喝采でした。

子どもたちは普段目にすることが少ない災害時に活躍する特殊車両には、両親に付き添われて触ったり、乗り込んだり、説明を受けて真剣に見学したりしていました。



## 子どもカヌー体験教室 ～湖面を楽しく乗りこなしました～

子どもたちに人気があり好評の「子どもカヌー体験教室」が、学校が夏休みに入ってすぐの7月29日（月）に信州新町の犀川ろうかく湖で行われ小学生13名と保護者・役員を含め25名が参加しました。

今年は7月26日に台風6号の接近の影響で天候が心配されましたが、当日は平年より8日、昨年より30日遅れて関東甲信地方で梅雨明けが宣言され、午後には長野市で31.7度の夏日が記録され、本格的な夏が到来しました。

カヌー参加の子どもたちは、スタート地点の信州新町美術館下の河川敷広場で、篠ノ井高校犀峡分校の津川先生から、パドルの使い方、回転の仕方などの指導を受けました。

その後、ライフジャケットを着用して湖面にカヌーで乗り出し、カヌー一部の生徒さんに付き添われて、一生懸命漕ぎ出しました。



今回は特別に付添の父兄や役員など大人もカヌー体験をさせていただきました。

一行は、犀川が信州新町の東に位置する東京電力の水内ダムでせき止められた流れが、湖のように見えるので名付けられた「ろうかく湖」に向かってカヌーを漕ぎだして行きました。途中トンネルをくぐって名所旧跡の久米路橋で一休みしてUターンし、すっかり慣れた

手つきでパドル操作をして、元気に出発点に戻って来ました。

津川先生から講評で、「普段あまり出来ないカヌー経験を皆さんにさせていただきましたが、来年また来ていただけると、今年やったことが成長して見られると思います。今日は夏にカヌー体験を実施しましたが、秋には久米路橋付近は紅葉が素晴らしいところです。信州新町には良いところが沢山ありますので、どうぞまたお出かけ下さい。」と、語られました。



## 男の料理教室 ～豪華なおつまみができました～

男の料理教室は、第五地区健康福祉環境部会と中御所公民館の共催で年間1回開催してきましたが、好評で年間2回は開催して欲しいとの声が

寄せられており、本年度から年間2回開催することとし、第1回目を7月22日（月）に中部公民館第五分館で行いました。

調理の内容は、お馴染みの「AB AB」笠原オーナーの指導で、ビールの美味しい時期になり、夏バージョンとして「簡単に美味しい夏の晩酌のおつまみ」を考えていただき、見た目も美味しそうな、もろきゅうのカザリ包丁、冷やっこ、錦糸



玉子、千切り大根サラダのシーチキン添え、一口チキンカツ、わかさぎとなすの天ぷら、松茸のお吸い物、ソーメンと豪華版を提案いただき、それぞれの調理方法を講義いただきました。

この時期にお吸い物用に松茸、天ぷら用にわかさぎをご寄附いただき、並びに自宅の畑で朝どりのきゅうり、なす、ぼたんこしょうなど見事な野菜をご寄附いただき、美味しく調理されて好評でした。

参加した皆さんは何回も調理を経験しているため、慣れた手つきで調理され、お互いに役割分担して手際よく調理され、順調に料理が仕上がりました。出来上がった料理は、座敷に並べられ皆で試食しました。いずれの品もびっくりする程美味しくできて好評でした。

次回は、冬バージョンをお願いし、笠原オーナーから凝った料理が提案いただけることを期待しております。



## 新装なった環境エネルギーセンター視察研修

～エネルギーと資源が循環する施設を目指して～



《管理棟》

健康福祉環境部会の環境委員会では、8月28日（水）に、「ながの環境エネルギーセンター」が平成31年2月末日に竣工したのに伴い、地域住民で長野市松岡にあるごみ焼却施設の視察研修をしました。

この施設は、広域連合を構成する管内9市町村の長野市、須坂市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、信濃町、小川村及び飯綱町で構成され、広域的な視点から圏域住民に対し、連携したサービスを提供することで、長野地域の一体的な振興・発展を目指しております。

この「ながの環境エネルギーセンター」は、千曲市及び坂城町を除く7市町村の可燃ごみを処理する施設として、新たに整備した焼却施設です。

また、この施設は、ごみを焼却処理するだけでなく、発生した熱による高効率発電や隣接する「サンマリーンながの」への熱供給、また焼却灰の資源化など、積極的な資源の有効利用に取り組んでおります。

管理棟2階には、環境学習コーナーが設けられ、ごみの分別やごみ処理の歴史、「ながの環境エネルギーセンター」の仕組みなどについて、環境や施設の運転に関して学べるように工夫されていました。



《環境学習》



《プラットフォーム》



《環境学習コーナー》



《ごみビット》

## 各町からののお知らせ



末広町・北石堂町  
南石堂町より

ながの祇園祭  
～にぎやかに御祭礼屋台巡行～

今年で8年目の屋台巡行が7月14日(日)に行われました。

今年は権堂、元善、大門、問御所の4町の屋台が曳き出され、西後と新田の2町の置き屋台が展示されました。

午前9時から西後町の朝日八十二ビル前で出発式が行われました。弥栄神社齋藤宮司は「今日の天候は降水確率を見て雨に降られると思った方が多いと思いますが、私は全然心配しておりません。これは神様のおかげであり、お先乗りの櫻田君のパワーが勝ったと思います。私は常々言っております。お祭りはお集まりである。皆さまがパワーを結集すること。このパワーが神に届く。そしてそのパワーが何倍にも御利益になって返ってきます。こんな素敵なお祭りが今日できるのはそのおかげです。」と、あいさつされました。

一連のあいさつに続いて、お先乗りの櫻田悠仁君（12歳）の綱切りにより、神の代理として、屋台の先頭に立ち、夏の疫病を祓うという信仰で、市民の健康と幸せを祈り、笛や太鼓、三味線を響かせて、各町の練り歩きに出発しました。道中、弥栄神社加盟町は会所を設けて御接待しました。昨年に引き続き、今年も長野駅前広場に末広町・南千歳町の会所を設けました。ここに14:15から16:00過ぎまで、お先乗り始め4町の屋台が次々に訪れ、奉納が行われ大勢の観衆の前で踊りなどが披露されました。中心市街地の活性化と伝統芸能の継承が期待されます。



天候は齋藤宮司の予言どおり、予報に反して梅雨前線や低気圧の影響は全く受けず、雲間から薄日が差し込む時間帯もあり、降雨の心配は全くなく、滞りなく中心市街地をにぎやかに練り歩きました。夜間になってから降雨が見られました。

夜間になってから降雨が見られました。



# 各町からのお知らせ

南石堂町  
より

## 第64回 蟻の市 ～恒例の真夏の夜の風物詩～

恒例の真夏の風物詩「蟻の市」は今回64回目を迎え、8月1日（木）と2日（金）に開催されました。

今年は、週の始めの7月29日に関東甲信地方が梅雨明けになり、日中は初日は34度の夏日、2日目は35度と猛暑日になり、暑さから逃れるため会場の南石堂町商店街振興組合パーキングには、会社帰りのサラリーマンやOL、友達同士や家族連れが訪れ、900席



用意されたテーブル席は満席になり、冷えたビールやおつまみが飛びように売れておりました。

子どもたちのために、ちびっこ縁日「蟻んこ村」が設けられ、ポップコーン、かき氷、綿あめが配られ、射的や金魚すくいは大勢の子どもが群がっておりました。そして、ちびっこアトラクションでは、8月1日（木）にAC長野パルセイロとポアルース長野の選手が訪れ、8月2日（金）には騎士竜戦隊リュウソウジャーショーで大勢の子どもたちが集まり、元気に掛け声をかけて真剣に見入っておりました。ご婦人に人気で好評の南石堂夜市は、お値打ち品が販売されており、まとめ買いしておりました。また、第五地区と地域間交流をしておりました信州新町からは、名物のジンギスカン焼きが出店され大人気でした。

抽選処では、抽選で3,000円分の商品券が100名に当たるとあって、順番待ちで賑わいました。

毎年8月の第一木・金曜日に開催される蟻の市には、今年も常連客はじめ大勢が集まり、それぞれがリラックスして楽しい一夜を過ごしておりました。



中御所  
より

## ケアネットデイサービス夏祭り ～大勢が楽しみました～

中御所の九反公民館前にある通所介護事業所(株)ケアネット デイサービス長野第三は、住み慣れた地域で、心豊かに生活できる施設として、介護相談や機能訓練、入浴・脳トレなど充実したデイサービスを提供し、機能訓練指導員などが定期的にトレーニングの指導やメニューを作成して指導してくれております。地域の行事にも積極的に参加され、デイサービスの見学・体験もでき、お互いに顔の見える関係を目指しておられます。

このたび、猛暑日も過ぎ去った8月25日（日）に夏祭りが開催され、ご利用者の方と地域住人の方が参加しました。会場には、綿あめ・かき氷・ドリンクコーナーやヨーヨーなどが準備され、体組成測定コーナーでは筋肉量、体内年齢など沢山の項目が瞬時に測定できる機器が設置され、自分のカラダの測定をしておりました。



夏祭りはステージが設けられ、ガールスカウト隊員による紙芝居などや、山崎作業療法士の指導で「夏祭り体操」を全員で行いました。今回、第五地区自治協として福祉ワーカーが中心となり、参加者の皆様に熱中症防止としてスポーツドリンクを提供しました。

夏祭りは盛大で好評を得ていました。

事務局

第五地区の活動にご意見、ご提案がありましたら、各町の区長さんまたは、事務局にお問い合わせください。

〒380-0833  
長野市大字鶴賀権堂町2201番地20  
権堂イーストプラザND 1階 第一から第五地区合同事務所

TEL 262-1512 (FAX共通)  
メール dai5@feel.ocn.ne.jp